

鹿児山地区地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	— (第-回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	高原町 (453617)
地域名 (地域内農業集落名)	鹿児山地区 (鹿児山・出口・湯之先・越地区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	284.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	284.3 ha
② 田の面積	39.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	240.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	7.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	5.4 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	68.6 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	13.2 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・本地区は、主に工芸作物、露地野菜、施設園芸、畜産を主体とした農業経営が営まれている地域である。
- ・以前実施された基盤整備事業により、一部区画整理や排水路・農道の整備が行われているが、農地集積や区画の大型化を行い、担い手の経営効率化を図る必要がある地区が残っている。
- ・現在、地区内農地の約3割について、耕作者が75歳以上となっている。5年後には4割以上の農地について、耕作者が75歳以上となる見込みであり、高齢化が進行している。
- ・耕作者の多くは、規模を拡大する余裕がない状況。一方、地域内に規模拡大を希望する担い手や、まとまった農地なら預かれるという担い手も少数だが存在する。
- ・農地に愛着のある所有者が多く、農地集約は難しい状況。規模拡大・現状維持志向者の3割強は、農地が集約できていない。
- ・未相続農地も、区画整理事業や農地集積の障害となっている。
- ・一部地域は、多面的機能支払制度に取り組み、農地の保全を実施している。しかし構成員の高齢化、非農業者の増加により、農地法面の草刈や水路の泥上げ等の地域資源の保全管理活動への参加者が減少傾向となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・今後も、工芸作物、露地野菜、施設園芸、畜産等の生産振興を図る。
- ・規模拡大を希望する担い手農家には、農地中間管理事業等を活用した農地集積を進める。
- ・地区内の担い手と併せて、地域外の若手農家の参入や、小規模でも後継者が残っていけるような経営体の育成を進め、幅広い担い手を確保する。
- ・区画整理等が未実施の地区においては、畑地帯総合整備事業を活用し、区画整理や農道の拡幅、新規水源の確保を図り、高生産経営体の育成と経営規模拡大を推進する。
- ・多面的機能支払制度の利用地区においては、少人数で効率的に活動が行えるよう維持管理の省力化や低コスト化を図りつつ、担い手との適切な役割分担に基づき地域資源を保全管理する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
・担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	37	%	将来の目標とする集積率	65	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
・農地中間管理事業を活用し、団地面積の拡大を図る					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
・規模拡大意向のある担い手には、農地集積を進める。あわせて、農地所有者との合意形成や所有者不明農地の対策等、農地の集約集積を進められる体制を検討していく。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
・農地集積・集約にあたっては、耕作者の意向に応じて、農地農地中間管理事業を活用する。 ・未相続農地について、所有者不明農地制度を活用し、農地バンクを通じた貸借を検討する。	
(3)基盤整備事業への取組	
・区画整理等が未実施の地区においては、畑地帯総合整備事業を活用し、区画整理や農道の拡幅、新規水源の確保を図り、高生産経営体の育成と経営規模拡大を推進する。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
・地域内の担い手への農地集積・集約に配慮しつつ、兼業農家や地域外の若手担い手等も、幅広く農業を担う者として確保する。 ・企業的農家の育成とあわせて、小規模でも後継者が残っていけるような経営体の育成を図る。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
・JAや地域の担い手による農作業受託を活用する。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
計			ha	ha		ha	ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)					備考
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示		
1	認農		園芸	37.8 ha	ha	園芸	37.8 ha	ha	A		
2	認農		園芸	13.1 ha	ha	園芸	13.1 ha	ha	B		
3	認農		飼料	12.8 ha	ha	飼料	12.8 ha	ha	C		
4	利用者		飼料	7.2 ha	ha	飼料	7.2 ha	ha	D		
5	認農		飼料	5.0 ha	ha	飼料	5.0 ha	ha	E		
6	認農		飼料	4.3 ha	ha	飼料	4.3 ha	ha	F		
7	認農		水稻	4.0 ha	ha	水稻	4.0 ha	ha	G		
8	利用者			3.9 ha	ha		3.9 ha	ha	H		
9	認農		園芸	3.6 ha	ha	園芸	3.6 ha	ha	I		
10	認農		飼料	3.2 ha	ha	飼料	3.2 ha	ha	J		
11	利用者			3.0 ha	ha		3.0 ha	ha	K		
12	認農		たばこ	3.0 ha	ha	たばこ	3.0 ha	ha	L		
13	認農		飼料	2.9 ha	ha	飼料	2.9 ha	ha	M		
14	利用者			2.7 ha	ha		2.7 ha	ha	N		
15	認農		茶	2.7 ha	ha	茶	2.7 ha	ha	O		
16	認農		茶	2.5 ha	ha	茶	2.5 ha	ha	P		
17	利用者			2.3 ha	ha		2.3 ha	ha	Q		
18	認農		園芸	2.2 ha	ha	園芸	2.2 ha	ha	R		
19	利用者		果樹、水稻	2.2 ha	ha	果樹、水稻	2.2 ha	ha	S		
20	認農		飼料	2.2 ha	ha	飼料	2.2 ha	ha	T		
21	認農			2.2 ha	ha		2.2 ha	ha			
22	認農		飼料	2.0 ha	ha	飼料	2.0 ha	ha			
23	利用者			2.0 ha	ha		2.0 ha	ha			
24	認農		飼料	1.7 ha	ha	飼料	1.7 ha	ha			
25	認農		飼料	1.7 ha	ha	飼料	1.7 ha	ha			
26	利用者			1.6 ha	ha		1.6 ha	ha			
27	認農		飼料	1.6 ha	ha	飼料	1.6 ha	ha			
28	利用者			1.6 ha	ha		1.6 ha	ha			
29	利用者			1.5 ha	ha		1.5 ha	ha			
30	認農		飼料	1.4 ha	ha	飼料	1.4 ha	ha			
31	利用者			1.4 ha	ha		1.4 ha	ha			
32	認農		飼料	1.4 ha	ha	飼料	1.4 ha	ha			
33	利用者			1.4 ha	ha		1.4 ha	ha			
34	利用者			1.4 ha	ha		1.4 ha	ha			
35	利用者			1.4 ha	ha		1.4 ha	ha			
36	利用者			1.4 ha	ha		1.4 ha	ha			
37	利用者			1.3 ha	ha		1.3 ha	ha			
38	利用者			1.3 ha	ha		1.3 ha	ha			
39	利用者			1.3 ha	ha		1.3 ha	ha			
40	利用者			1.3 ha	ha		1.3 ha	ha			
41	認農		飼料	1.3 ha	ha	飼料	1.3 ha	ha			
42	利用者		飼料	1.3 ha	ha	飼料	1.3 ha	ha			
43	認農		飼料	1.3 ha	ha	飼料	1.3 ha	ha			
44	利用者		飼料	1.3 ha	ha	飼料	1.3 ha	ha			
45	認農		水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha			
46	利用者		飼料	1.2 ha	ha	飼料	1.2 ha	ha			
47	利用者		茶	1.2 ha	ha	茶	1.2 ha	ha			
48	認農		飼料	1.2 ha	ha	飼料	1.2 ha	ha			
49	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
50	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
51	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
52	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
53	認農			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
54	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
55	認農		園芸	1.1 ha	ha	園芸	1.1 ha	ha			
56	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
57	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
58	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
59	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
60	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
61	利用者			1.1 ha	ha		1.1 ha	ha			
62	利用者			1.0 ha	ha		1.0 ha	ha			

